

令和7(2025)年度第3回水工学委員会および幹事会

日時：令和8年3月11日(水)17:00～

場所：オンライン(Zoom)

<https://us06web.zoom.us/j/83704014576?pwd=Ryo7e90SnLtHjrTRjlvqlytPMLcSKo.1>

ミーティングID: 837 0401 4576

パスコード: 512953

0. 田中委員長挨拶

《協議事項》

1. R7年度水工学講演会各賞受賞について(委員長) 協議資料1
2. R8年度第1回水工学委員会, 編集小委員会, 編集小委員会幹事会の日程案(幹事長) 資料なし  
5/20(水)10:00-12:00 編集小委員会(編集作業の確認)  
6/2(火)15:00- 水工学委員会  
6/5(金)13:00- 編集小委員会幹事会(主査・副査の決定)
3. R9年度水工学講演会, 夏期研修会, 水シンポジウムの開催地区・開催地について(幹事長) 協議資料2
4. その他

《報告事項》

(\*は第2回水工学委員会資料の再掲)

1. R8年度水工学講演会について(北九州) 資料1\*
2. R8年度水工学夏期研修会について(金沢大, 海岸工学主担当) 資料2
3. R8年度水シンポについて(R8.10/27(火)-28(水), 徳島) 資料3
4. 河川災害に関するシンポジウム(R8.4/23(木)13:00-15:30, 土木学会講堂) 資料なし
5. IAHR2029大会について(委員長) 資料なし
6. JSCE-CCES Joint Symposiumについて(幹事長) 資料なし
7. レーダ雨量計60周年記念シンポジウムについて(R8.5/13(水)13:30-, 東京大学伊藤謝恩ホール) 資料4
8. その他

※参加の皆様へ:

注意事項:

- ・ZOOMの録音録画はしないでください。
- ・ZOOM上では, 氏名と所属を表示ください。
- ・通常はカメラオフ, マイクミュートとして, 発言されるときにはカメラ, マイクオンにしてください。
- ・資料は戸田または山田が画面共有しますので, 説明者におかれましては表示頁の指示をお願いします。

## 1) 表彰関連【審議事項】

下記4件の表彰について、受賞候補者を決定します。

- ◆水工学論文賞
- ◆水工学論文奨励賞
- ◆Best International Paper Award
- ◆アウトスタンディングディスカッション賞

選考スケジュール	10月	11月	12月	1月	2～3月	11～12月	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水工学論文賞</li> <li>• 水工学論文奨励賞</li> <li>• Best International Paper Award</li> </ul>	対象論文 選定	審査員 選定 →依頼	講演会后 1～2週間で審 査結果を回収	集計	<b>委員会で 決定</b> →対象者 に通知	水工学委員 会HPで受 賞論文・受 賞者の公表	論文賞・奨励賞・ BIPAは、翌年度の 水工学講演会に て授賞式

## アウトスタンディングディスカッション賞 殿堂入りリスト

水工学講演会において、セッションを盛り上げていただいた方に対し、司会者推薦により、アウトスタンディングディスカッション賞を授与しています。

下記の方は、殿堂入り（3回受賞）されております。

※今後の受賞はありません。

表彰年	氏名	所属（表彰時）
2018	小森 大輔	東北大学
2019	内田 龍彦	広島大学
2019	芳村 圭	東京大学
2020	井上 卓也	広島大学
2022	相馬 一義	山梨大学
2022	仲吉 信人	東京理科大学
2022	原田 大輔	土木研究所

2026/3/11

水工学講演会      水工学に関する夏期研修会      水シンポジウム

水工	研修	シンポ	年	北海道	東北	関東	中部	関西	四国	中国	西部
28			1992			東京					
38	29		1993		秋田	中央大					
39	30		1994			中央大		大阪			
40	31		1995	北見		中央大					
41	32	1	1996			中央大				山口	
42	33	2	1997					兵庫	徳島	鳥取	
43	34	3	1998		福島		名古屋	立命館大			
44	35	4	1999		日大	東京					北九州
45	36	5	2000			東工大 東京					熊本
46	37	6	2001		山形		名工大 富山				
47	38	7	2002	札幌		早稲田大		京都			
48	39	8	2003						愛媛	岡山	熊本大
49	40	9	2004	釧路		国土館大				広島	
50	41	10	2005					京都大 大阪	愛媛		
51	42	11	2006		宮城	法政大	岐阜				
52	43	12	2007				愛知			広島大	福岡
53	44	13	2008			芝浦工大 東京 千葉					
54	45	14	2009	北大	郡山		新潟				
55	46	15	2010			東大生研		神戸			福岡
56	47	16	2011					京都	愛媛大	広島	
57	48	17	2012	札幌			名城大 岐阜				
58	49	18	2013				名古屋	神戸大	高知		
59	50	19	2014			早稲田大					北九州 長崎
60	51	20	2015		東北工大	東京		福井			
61	52	21	2016		秋田				山口	九州大	
62	53	22	2017					大阪	岡山大	沖縄	
63	54	23	2018	北大			静岡		山口		
64	55	24	2019			埼玉大	名古屋	滋賀			
65	56	25	2020								
66	56	25	2021			群馬	富山県大		高知		
67	57	26	2022		山形	東京			愛媛大		
68	58	27	2023	札幌				大阪 大阪			佐賀
69	59	28	2024				富山 長野				
70	60	29	2025		福島	山梨					九州大
71	61	30	2026				石川(金沢)	徳島			北九州
72	62	31	2027		東北地区		三重			中国地区	
73	63	32	2028								
74	64	33	2029								
75	65	34	2030								

水シンポ 夏期研修会  
担当部会  
河川  
環境水理  
基礎水理

水文  
河川

河川  
環境水理

基礎水理  
水文  
河川

環境水理  
基礎水理

延期  
水文  
河川

環境水理  
基礎水理

水文  
河川

環境水理  
基礎水理

海岸  
水工  
海岸  
水工  
海岸  
水工  
海岸  
水工  
海岸  
水工  
海岸  
水工  
海岸

全国大会

日大	関東
大阪大	関西
岡山大	中国
東北大	東北
九大	西部
北大	北海道
香川大	四国
中部(オンライン)	中部
神奈川(平塚, 東海大)	関東
京都大	関西
広島大	中国
東北大	東北
熊本大	西部
	北海道
	四国
	中部
	関東

未開 催シ ンポ	岩手県	茨城県	三重県	奈良県	香川県	島根県	大分県
	秋田県	栃木県	石川県	和歌山県		岡山県	宮崎県
	青森県	埼玉県					鹿児島県
		神奈川県					

## 2026年水工学講演会：北九州市（小倉）

- 日程: 2026年11月30日(月)～12月2日(水)
  - ※11/10～13: 海岸工学講演会(大分), 12/7～12: AGU(USA)を考慮。
- 担当: 矢野(九大)・丸谷(九大)・重枝(九工大)・渡部(九大)・巖島(九大)
- 会場の詳細情報: 下表

	北九州国際会議場
場所	北九州市小倉北区浅野3-9-30
交通	小倉駅から徒歩5分 福岡空港から最速で30分(新幹線利用) 北九州空港からJR小倉駅まで約30分(高速バス)
会場飲食	可能
懇親会	会場内で開催
借上費用(概算)	150万円程度?
自治体のサポート	北九州市の助成: 100名以上, のべ50泊以上 →条件はクリア: 重枝先生経由で申請予定
WiFi	無料で利用可能
昼食など	小倉駅内, 駅反対側に多数飲食店あり



- 会場配置案

	北九州国際会議場(会場キャパ:シアター形式:スクール形式)
第1会場	メインホール(524)
第2会場	国際会議室(200:156)
第3会場	21会議室(150:108)
第4会場	32会議室(130:78)
第5会場	11会議室(90:60)
控え室	31会議室(45) → 入り口ホール横の部屋(無料)
懇親会	イベントホール(立食300まで)

- 今後の予定:

R7年度中:今年の水工学講演会を参考に, 予算案を作成

R8年度

- ・特別講演の企画
- ・北九州市の助成申請
- ・アルバイト学生の雇用(九工大の学生を中心に)  
など

# 第6 1回水工学に関する夏期研修会 準備状況

1. 日程 2026年8月27日（木）・28日（金）
  2. 会場 金沢大学角間キャンパス（金沢駅からバス35分）講義室
- ・開催形式：対面＋オンデマンド検討中で2日間（9～17時）
  - ・参加定員：今年と同様の120名×2コース
  - ・参加費：一般16000円，学生10000円（今年同様）  
（2025年オンデマンド：18000円，学生12000円）
  - ・交流会：過去の参加人数や方法などの情報収集して，今後検討する
  - ・担当者：Aコース：谷口（金沢大）  
Bコース：榎田（金沢大），由比（金沢大）

### 3. テーマ

頻発・激甚化する流域・沿岸災害に関する調査・解析と防災を考える

過去のテーマ（2023年以降はA・Bコース共通テーマ化）

2025	水工学のパラダイムシフトをもたらす技術・研究	九州大学
2024	水工学に関するモニタリング技術と活用	大阪公立大学
2023	水工学に関する国際的課題，今後我が国で取り組むべき課題	北海道大学
2022	A.頻発する豪雨災害の現状と複合災害への備え B.波・流れと地盤の複合現象	東京大学
2021	A.激甚化する豪雨災害に備える河川技術 B.海岸災害対策におけるこれからの論点と適応技術	オンライン (オンデマンド)
2020	A.激甚化する豪雨災害に備える河川技術	オンライン
2019	A.気候変動適応に向けた水工学・防災技術 B.伊勢湾台風60年：高潮・高波・沿岸防災の過去・現在そして将来	名古屋工業大学
2018	A.新しい技術の河川工学への応用 B.沿岸域における環境研究の変遷とこれから	山口大学
2017	A.河川の維持管理と流域の保全 B.海岸・港湾における構造物の維持管理と海岸保全	大阪大学
2016	A.地球環境変化時代の水防災 B.東日本大震災後の津波防災	秋田大学

## 4. 講師の先生方と時間割

日時		Aコース	Bコース
8月27日 (木)	9:00-10:30	佐山敬洋先生 (京都大学)	
	10:45-12:15	知花武佳先生 (政策研究大学院大学)	
	13:15-14:45	柏田仁先生 (東京理科大学)	嶋原良典先生 (防衛大学)
	15:00-16:30	武田誠先生 (中部大学)	高川智博様 (港湾空港技術研究所)
8月28日 (金)	9:00-10:30	越村俊一先生 (東北大学)	
	10:45-12:15	豊田将也先生 (豊橋科学技術大学)	
	13:15-14:45	呉修一先生 (富山県立大学)	二宮順一先生 (金沢大学)
	15:00-16:30	久田嘉章先生 ※ (工学院大学)	中條壮大先生 (大阪公立大学)

※二瓶先生のご推薦により変更

講義題目は3月中に決定予定

# 「第30回水シンポジウム2026 in とくしま」

## 第2回実行委員会

日時：令和8年3月10日(火) 16時00分～

場所：WEB会議

### 次第

#### 1 開会

#### 2 議題

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| (1) シンポジウム企画構成について        | 【資料1】 |
| (2) 現地見学会について             | 【資料2】 |
| (3) 懇親会について               | 【資料3】 |
| (4) 運営支援業務委託発注の見積もり結果について | 【資料4】 |
| (5) 資料配布用トートバックについて       | 【資料5】 |
| (6) 予算について                | 【資料6】 |
| (7) 今後のスケジュールについて         | 【資料7】 |
| (8) その他                   |       |

#### 3 閉会

## 「第30回水シンポジウム2026 in とくしま」 実行委員会規約

### （名 称）

第1条本会は、「第30回水シンポジウム2026 in とくしま」実行委員会（以下、「実行委員会」という。）と称する。

### （目 的）

第2条実行委員会は、「第30回水シンポジウム2026 in とくしま」（以下、「水シンポジウム」という。）の円滑かつ効果的な開催を図ることを目的とする。

### （実行委員会）

第3条実行委員会は、水シンポジウムの開催及び運営に関する企画事項の決定を行うものとし、実行委員は別表1に掲げる者若しくは職にある者をもって充てる。

- 2 実行委員長は、土木学会水工学委員会委員長の職にある者をもって充てる。
- 3 実行委員長は、会務を総括し、実行委員会を代表する。
- 4 実行委員会には、顧問を置くことができる。
- 5 顧問は、実行委員会の活動に際し、指導と助言を行うものとする。
- 6 実行委員会の会議は、実行委員長が招集するものとし、会議の議長は実行委員長が務める。ただし、実行委員長に事故等のあるときは、あらかじめ実行委員長が指名する実行委員がその職務を代行する。
- 7 実行委員長が必要と認めたときには、実行委員長の指名した者を実行委員に追加・変更することができる。

### （事務局）

第4条実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局員は別表2に掲げる者若しくは職にある者をもって充てる。
- 3 事務局長は、徳島県県土整備部河川政策課長の職にある者をもって充てる。
- 4 事務局長が必要であると認めたときには、事務局長が追加・変更した者を事務局が行う会議に参加させることができる。
- 5 事務局は、徳島県県土整備部河川政策課に置く。

### （経 費）

第5条実行委員会の経費は、分担金その他の収入をもって充てる。

- 2 経費の精算は、事業終了後に行う。

(監 事)

第6条 監事は、実行委員会の会計を監査するものとし、四国地方整備局徳島河川国道事務所長の職にある者をもって充てる。

(任 期)

第7条 実行委員、顧問、監事の任期は、この実行委員会が解散するまでとする。

(その他)

第8条 この規約に定めるもののほか、水シンポジウムの開催に関し必要な事項は、実行委員会に諮り、実行委員会の委員長がこれを定める。

附則 この規約は、令和7年10月28日から施行する。

## 「第30回水シンポジウム2026 in とくしま」実行委員及び事務局員名簿

2025/10/28時点

別表1 実行委員会 (◎実行委員長)

	機関名	役職名	氏名	備考
◎	土木学会水工学委員会	委員長	田中規夫	埼玉大学
	土木学会水工学委員会	幹事長	戸田祐嗣	名古屋大学
	土木学会水工学委員会	河川部会長	堀江克也	
	徳島大学大学院	教授	武藤裕則	
	阿南工業高等専門学校	准教授	長田健吾	
	四国地方整備局	河川調査官	松山芳士	
	四国地方整備局徳島河川国道事務所	所長	安永一夫	
	四国地方整備局那賀川河川事務所	所長	北川誠純	
	徳島県県土整備部	部長	新瀆光夫	
	徳島市都市建設部	部長	久米健仁	

別表2 事務局 (◎事務局長)

	機関名	役職名	氏名	備考
	土木学会水工学委員会	幹事長	戸田祐嗣	名古屋大学
	徳島大学大学院社会産業理工学研究部	教授	武藤裕則	
	徳島大学大学院社会産業理工学研究部	教授	鎌田磨人	
	徳島大学環境防災研究センター	教授	上月康則	
	徳島大学大学院社会産業理工学研究部	准教授	田村隆雄	
	徳島大学環境防災研究センター	准教授	山中亮一	
	香川高等専門学校建設環境工学科	准教授	高橋直己	
	(同)ACEネット研究所(阿南工業高等専門学校名誉教授)		湯城豊勝	
	阿南工業高等専門学校創造技術工学科	准教授	長田健吾	
	四国地方整備局河川計画課	課長	福井慧	
	四国地方整備局河川計画課	課長補佐	藤坂昌史	
	四国地方整備局河川計画課	係長	吉岡優平	
	四国地方整備局徳島河川国道事務所	副所長	相田晴美	
	四国地方整備局徳島河川国道事務所	課長	林田拓都	
	四国地方整備局徳島河川国道事務所	係長	梅田涼平	
	四国地方整備局那賀川河川事務所	副所長	南本秀行	
	四国地方整備局那賀川河川事務所	課長	濱井宣明	
	四国地方整備局那賀川河川事務所	係長	森田頌康	
◎	徳島県県土整備部河川政策課	課長	山本英史	
	徳島県県土整備部河川政策課	課長補佐	前島篤史	
	徳島県県土整備部河川政策課	係長	石田達憲	
	徳島市都市建設部河川水路課	課長	仁木正	

## 日程・会場について

2025/10/28時点

### 【日程】

開催日は、**令和8年10月27日（火）～10月28日（水）〔2日間〕**とする。

- ・令和8年10月27日（火）午後 シンポジウム（対面形式）
- ・令和8年10月27日（火）夜 懇親会
- ・令和8年10月28日（水）現地見学会

※台風シーズンおよび水工学関連行事を避けられる期間として10月下旬～11月初旬を開催候補とし、シンポジウム運営に携わる関係者の予定、下記会場の空き状況を考慮して、本日程を選定しました。

### 【会場】

会場は、**あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）**とする。

#### 会場の概要

- ・ホール収容定員 809席（ホール図面：[https://kyoubun.or.jp/pdf/f1\\_2.pdf](https://kyoubun.or.jp/pdf/f1_2.pdf)）
- ・控え室用の楽屋8室（洋室・和室），会議室6室あり（必要に応じて予約）
- ・主催者用の駐車場15～20台程度あり

※過去のシンポジウム会場の状況を考慮し、500人程度の収容力を持ち、徳島市内に立地するホールを条件に選定しました。徳島市内でこれら条件を満たすホールは、現状あわぎんホールのみとなり、本ホールは駅近くであり、周辺ホテルへのアクセスも良好であることから、最適な会場と判断しました。

#### 住所

〒770-0835 徳島県徳島市藍場町2丁目1 4

#### アクセス

- ・JR徳島駅から 徒歩約10分
- ・徳島阿波おどり空港から タクシー・徳島空港バス（徳島駅前行き）で約30分
- ・車で来場の場合、周辺に有料駐車場あり



写真 あわぎんホールの概要

出典： <https://kyoubun.or.jp/bunka/index.html>

<https://www.tokushima-mice.jp/jpn/facilities/awagin>

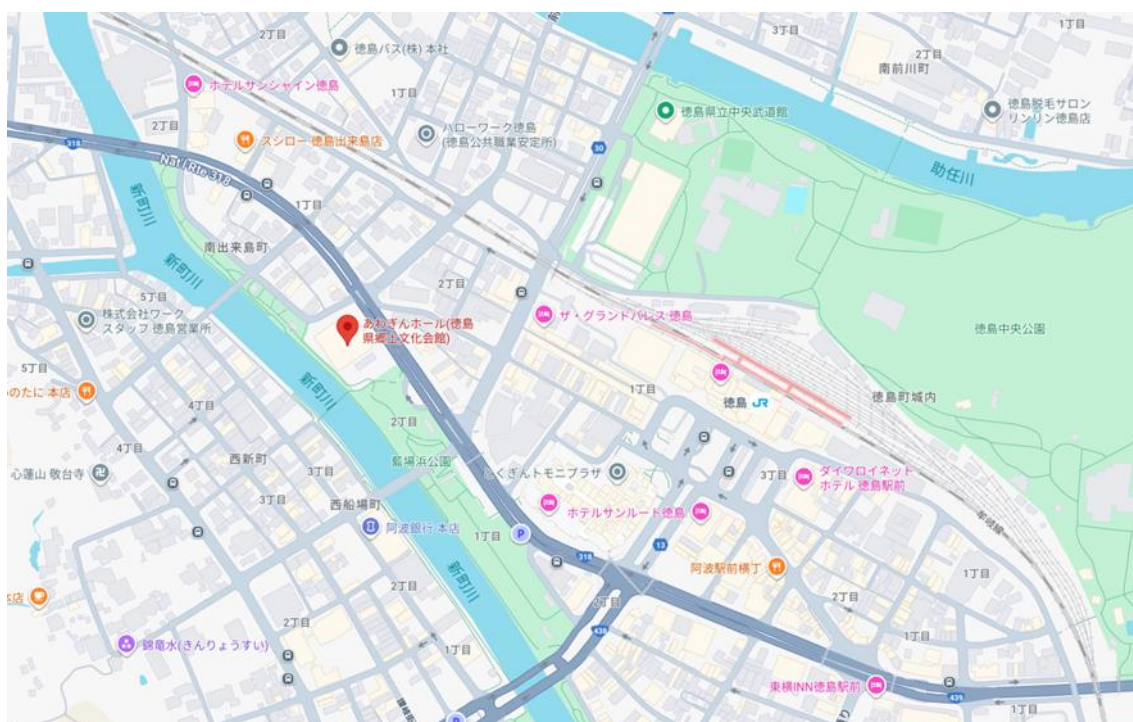


図 あわぎんホールの位置

## メインテーマについて

2025/10/28時点

### 【シンポジウムの内容】

「水シンポジウム2026 in とくしま」では、徳島県内を流れる吉野川、那賀川の2河川を対象として講演内容を設定したいと考えています。吉野川は、四国一の規模を誇る河川であり、日本三大暴れ川の1つ「四国三郎」として全国的に知られています。流域住民は、長い歴史の中で洪水と戦いながら多くの治水事業を進め、川の流れをコントロールすることで生活の場を築いてきました。吉野川のもたらす豊かな水は四国4県で利活用され、新たな産業の発展と恵まれた自然環境をもたらし、街ににぎわいを産む源となっています。一方、那賀川は、日本でも有数の急勾配河川かつ豪雨地帯であり、山地からの活発な土砂生産により下流域に扇状地が形成されてきました。吉野川と同様、多くの治水事業により川をコントロールし、川のもたらす恵みにより流域の街が発展してきました。これら2河川の歴史と文化、街の発展、自然環境などをテーマに、講演内容を考えていければと思います。

### 【メインテーマ】

メインテーマは、

**「悠久の大河と歩む阿波の“刻”が語る**

**～治水の功がもたらす恵みと未来への想い～**

とする。

#### メインテーマの設定意図

吉野川・那賀川を表す語句として「悠久の大河」を選定しました。地名を徳島ではなく「阿波」とすることで、また、「“刻”が語る」といった表現を組み込むことで、治水・利水の長い歴史があり現代へその状況が続いていることを感じ取ってもらえるようにしました。副題は、徳島がこれまで培ってきた「治水の上に利水が成り立つ」の想いをもとに「治水の功がもたらす恵み」としました。治水事業によって川をコントロールすることで利水・環境といった生活の恩恵に繋がっているといった表現となります。シンポジウムは徳島より全国に情報発信するという意味もあるため、「未来への想い」を付しています。

## シンポジウム企画構成について

2026/3/10時点

### 【シンポジウムのプログラム】（案）

令和8年10月27日（火）午後

12:00	受付開始	
13:00	開会	※挨拶（実行委員長，国交省，徳島県，徳島市？）
13:30	講演1	(40分+質疑5分) 吉野川関連
14:15	講演2	(30分+質疑5分) 那賀川関連
14:50	休憩	【展示見学】 (20分)
15:10	講演3	(15分) もたらす恵み・保全の取組み
15:25	講演4	(15分) もたらす恵み・保全の取組み
15:40	講演5	(15分) もたらす恵み・保全の取組み
15:55	講演6	(15分) もたらす恵み・保全の取組み
16:10	休憩	【展示見学】 (20分)
16:30	パネルディスカッション	(40分)
17:10	総括	【田中委員長】 (10分)
17:20	次回開催県挨拶	【〇〇県】 (10分)
17:30	閉会	

### 【シンポジウム講演者候補】

#### ◇ 講演1・2

下記，安永所長より講演関連の案

吉野川の歴史は、「洪水」と「水害」の歴史であると言っても過言ではありません。藩政期，今のような大堤防がない時代，先人たちは，「知恵」を駆使して水害と向き合ってきたと思います。徳島藩を支えてきた「藍」は，吉野川の洪水が稲作を許さない状況で生まれた「暮らしの知恵」であり，現在でも残されている，洪水に対する自衛手段の「城構えの家」や，水争いもおさめた「印石」も「暮らしの知恵」かと思えます。また，危険箇所を知らせる「高地蔵」たちは，命を守るための「心の知恵」ともいえます。なお，早明浦ダムをはじめとした吉野川の分水は，関係者の「知恵」の結晶と言えます。

※水害常襲地帯

- 高地蔵，印石，城構えの家（知恵）
- 藩政期以降の築堤（治水の功）
- 用水路整備（利水）
- 藍作からの転換（畑作、稲作）
- 現在（上水、工水利用、産業集積地へ変貌）
- 今後は流域治水の実践と深化！

那賀川については，ダム改造・置き土事業等の話題を中心に講演できる方を選定．

- ・ 講演者1 : 徳島河川国道事務所 安永所長
- ・ 講演者2 : 香川大学 野本粹浩特命教授（那賀川河川事務所元所長）

◇ 講演3～6

- ・ 新潟大学 河口教授（鳥類・魚類）

※下記は打診中

- ・ とくしまコウノトリ基金 柴折史昭事務局長  
（吉野川・那賀川流域でコウノトリ等の保護活動に携わっている団体）
- ・ 那賀川アフターフォーラム 中村貴志会長  
（那賀川の上下流を繋ぐ活動をしている団体）
- ・ 新町川を守る会 中村会長 or 若い方  
（吉野川水系新町川の魅力向上の取り組みに従事）

◇ パネルディスカッション

司会：徳島大学 武藤教授

## 現地見学会について

2026/3/10時点

### ◇ 日程案

令和8年10月28日（水）

9:00 徳島駅発

見学

12:00 昼食

見学

16:00 徳島駅解散

※徳島発飛行機（令和8年3月現在）

東京行

JAL 17時半ごろ, 20時半ごろ

ANA 19時半ごろ

福岡行

JAL 20時ごろ

### ◇ 受け入れ人数

最大50名想定

### ◇ バス

国交省マイクロバス3台（定員20名）

### ◇ 見学日程（案）

徳島河川国道事務所から見学日程（案）が提示されました。最後の藍の館と新町川クルーズについて、プラン再考中ですが、概ねこのような行程で実施する方向です。

◆ 見学日程（徳島河川国道事務所案）

■日時：令和8年10月28日（水）9時から16時 ※車移動の方は、徳島地方合同庁舎集合

■参加者：〇〇（最大50名を想定）

■テーマ：四国三郎吉野川 治水の功がもたらす恵み

行程		備考
8:45	集合（徳島地方合同庁舎）	
	(0:10)	
9:00	発 徳島駅	
	(0:15)	
9:15	着 ①吉野川河口	河口干潟
	(0:15)	
9:30	発	
	(0:20)	
9:50	着 ②第十樋門	旧吉野川への分流 ※降車場は旧吉野川堤防沿or操作室敷地内
	(0:15)	
10:05	発	
	(0:10)	
10:15	着 ③印石	洪水遺産
	(0:15)	
10:30	発	※駐車場は石井町公民館藍畑分館を想定 (要使用許可)
	(0:20)	
10:50	着 ④田中家	洪水遺産
	(0:30)	
11:20	発	(トイレ休憩)
	(0:10)	
11:30	着 ⑤愛宕地蔵	洪水遺産
	(0:15)	
11:45	発	※降車場所は堤防脇、駐車場は高瀬橋手前で検討
	(0:05)	
11:50	着 ⑥石井防災ステーション	弁当を注文
	(1:00)	
12:50	発 昼食	(トイレ休憩)
	(0:10)	
13:00	着 ⑦第十堰	旧吉野川分流、新川掘り抜き工事
	(0:20)	
13:20	発	※神宮入江排水機場付近で駐車
	(0:20)	
13:40	着 ⑧自然再生事業	津慈地区（コウノトリ）
	(0:15)	
13:55	発	
	(0:20)	
14:15	着 ⑨藍の館	藍染めの歴史
	(1:00)	
15:15	発	(トイレ休憩)
	(0:40)	
※時間の都合上、新町川クルーズは希望者のみ(徳島駅希望者と2班に分かれる)		
15:55	着 ⑩新町川クルーズ	水辺利用の取組
	(1:00)	
16:55	発	※全員1回では乗船できないため、適宜解散
	(0:15)	
15:55	着 ※藍の館→徳島駅	
	(0:10)	
17:10	着 ※新町川クルーズ→徳島駅	
	(0:10)	

## 懇親会について

2026/3/10時点

- ◇ 日程（案）  
令和8年10月27日（火）  
19:00～21:00
- ◇ 人数（案）  
50名程度を想定
- ◇ 参加費（案）  
5000円程度を想定
- ◇ 開催場所（案）



## 今後のスケジュールについて

2026/3/10時点

年 月	実施行事・会議および議題等
令和7年度	
10月24日 10月25日	水シンポジウムinやまなし 1日目シンポジウム, 2日目現地見学会
10月28日	<b>第1回実行委員会</b> 委員会規約・メンバー・開催日程・シンポジウム会場・メインテーマ・役割分担の決定 予算案の提示
11月11日	河川財団 助成金申請
1月22日	四国クリエイト協会 助成金申請
3月9日	<b>第1回事務局会議</b> シンポジウム企画構成, 講演者, 現地見学会, 懇親会 運営支援業務委託発注の見積もり, 配布用トートバック 予算案
3月10日	<b>第2回実行委員会</b> シンポジウム企画構成, 講演者, 現地見学会, 懇親会 運営支援業務委託発注の見積もり, 配布用トートバック 予算案
令和8年度	
4月初旬	運営支援業務委託発注
4月中旬	防災研究協会 助成金申請 (開催の6ヶ月前まで)
5月下旬	<b>第3回実行委員会 (事前に事務局会議開催の可能性あり)</b> シンポジウム企画構成, 会場レイアウト, HP開設, ポスターデザイン
9月中旬	<b>事務局会議</b> シンポジウム当日の人員配置, 役割, ブース配置等
10月中旬	<b>事務局会議</b> 当日運営の最終確認
10月27日AM	会場準備及び各種リハーサル
10月27日PM	水シンポジウムinとくしま (講演)
10月28日	水シンポジウムinとくしま (現地見学会)
1月中旬	<b>事務局会議</b> 予算収支の中間報告, 水シンポジウム報告書 (素案) の確認
2月下旬	河川基金助成事業 (完了) 報告 (報告期限: 4月中)
2月下旬	<b>第4回実行委員会</b> 決算報告, 監査, 水シンポジウム報告書の審議

2026/03/11

## レーダ雨量計 60 周年記念シンポジウム資料

水文部会 市川温

## ■ シンポジウム名称・日時等

名称：

レーダ雨量計 60 周年記念シンポジウム「社会インフラとしてのレーダ雨量計ネットワーク」

主催：土木学会水工学委員会

後援：国土交通省

日時：2026年5月13日（水）

13時から入場

13時30分～17時30分までシンポジウム

18時から20時まで懇親会

場所：東京大学本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール

懇親会は隣の多目的スペースで行う

予算：伊藤謝恩ホールへの支払い 約 60 万円

その他に、看板・バイト代

京大防災研の「自然災害研究集会」35 万円見込み

水工学委員会より 30 万円見込み

足りない場合は、京大の科研から

オンラインでの同時配信は行わない。録画（アーカイブ）配信は検討する

## ■ プログラム案

司会：大石先生

13:30～13:45 開会挨拶（水工学委員長 田中先生）

13:35～13:40 来賓挨拶（土木学会会長 池内先生） 深見様から依頼

13:40～13:45 来賓挨拶（水管理・国土保全局長 林様） 国交省から依頼

13:45～14:15 はじめに（中北先生）

- 14:15～14:30 水管理・国土保全分野への利用（国土交通省 河川情報企画室長 久保様）  
14:30～14:45 砂防関連への利用（国土交通省 地震・火山砂防室長 山越様）  
14:45～15:00 質疑  
15:00～15:20 休憩
- 司会：山口先生
- 15:20～15:35 鉄道の運行規制への利用（JR 東日本 内藤様）  
15:35～15:50 道路の通行規制への利用（日本気象協会 増田様）  
15:50～16:05 フェーズドアレイレーダの技術紹介（東芝電波テクノロジー 水谷様）  
16:05～16:20 質疑  
16:20～16:30 休憩  
16:30～17:20 全体討議（ファシリテータ 中北先生）  
17:20～17:30 閉会挨拶（水文部会長 市川）

登壇者および挨拶をお願いする方へは、水工学委員会より正式に依頼する（担当：市川）。

■ 参加登録について

〆切：4月10日

<https://forms.gle/r9yf1Jx16myTouZ87>